

生徒心得①（1日の流れについて）

《欠席・遅刻・早退・見学》

- ① 事前に欠席・遅刻・早退・見学が分かっている場合や当日になって欠席や遅刻などをする場合は保護者の方から学校に「マチコミで送られたQRコード（URL）」を通じて、欠席等連絡聞き取り票に記載をします。
- ② 遅刻して登校した場合は、職員室の先生に遅刻して登校したことを報告します。その後、授業に参加します。

《登校》

- ① 下駄箱は上履きと外履きを分けて置きます。上履きや外履きは、かかとを下駄箱のふちに揃えて、きれいに置きます。
※ 外履き以外のくつは、下駄箱には入れず、各自で管理をします。
- ② 教室のロッカーに入れたかばんのファスナーをきちんと閉めます。
- ③ 8：10が朝読書の開始時間です。チャイムが鳴るまでにかばんをロッカーにしまい、読書の準備をし、1時間目の授業の服装で着席します。【学習（図書）委員の呼びかけ】
※ チャイム開始で着席できない場合は、遅刻になる可能性があります。
※ 朝読書は、不要なものは出さずに整然とした雰囲気で行います。
- ④ 学校生活に必要な物やお金は持ってきません。
※ やむを得ず持ってきた貴重品などは、登校後、すぐに先生に預けます。
※ 不必要な物を持ってきてしまった場合、その場で先生が預かり、保護者の方に返却します。

《授業》

- ① 授業開始チャイムの2分前には授業の準備を終えて、着席をします。【学習委員の呼びかけ】
- ② 授業は原則、制服で受けます。
※ ジャージでの授業や清掃などに挟まれた授業に関しては、授業開始までに教科担任の先生に許可を得ることで、体操服やジャージで受けることが可となる場合もあります。
例1 ①体操服の授業 《②制服の授業》 ③体操服の授業
例2 給食 ⑤体操服の授業 《⑥制服の授業》 清掃
例3 ③体操服の授業 《④制服の授業》 給食 昼清掃 ⑤制服の授業
※ 教科係が許可を得ていない場合は、上の例のような日課であっても制服で授業を受けます。
- ③ 授業終了後、教科係は教科担任の先生に次の授業の連絡を聞きます。

《休み時間》

- ① 授業準備やトイレ、特別教室への移動時間にあてます。（遊ぶことが目的の時間ではありません）
- ② ベランダには出ません。自分の教室以外の教室には入りません。
- ③ 他学年のフロアには原則、行きません。（特別教室への移動の場合は除きます）

《昼食》

- ① 4校時終了5分後には、手洗いを済ませて着席します。【衛生委員の呼びかけ】
- ② 給食終了のチャイムが鳴るまでは教室の外に出ません。（トイレに行きたい時は申し出ます）

《昼休み》

- ① 中庭・アスファルトで遊んだり、体育館で野球やサッカーなど、物を壊したりしてしまう危険のある遊びは絶対に禁止です。また、硬式野球ボールの使用も絶対に禁止です。
- ② ボール遊びは、グラウンドや体育館で行います。学年ごとに、曜日を分けて体育館を開放していますが、先生がつけない場合は開放しません。【生活安全委員の取り組み】
- ③ ボールや用具は貸出用または自分自身の物を使用し、部活動や授業で使う用具は使いません。

＜貸出方法＞

- ① 昼休み開始のチャイムが鳴ってから、職員室へ借りに行きます。
- ② 借りたい物を貸出管理ファイルに記入してから借り、昼休み中に職員室へ返却します。

《清掃》

- ① 上は体操服またはジャージ（ジャージの下は、白Tシャツ・ワンポイント可）、下はジャージまたはハーフパンツに着替えて清掃を行います。
- ② 開始のチャイム（放送）までに着席をします。【環境美化委員の呼びかけ】
- ③ 開始のチャイム（放送）から終了2分前の放送まで、すみずみまできれいにします。
※ 教室に戻るまで黙動です。

《放課後》

- ① 帰りの会終了後は、すぐに帰宅します。また、部活動に所属している人は、すみやかに活動場所に移動します。
- ② 帰りの会終了15分後までには門の外へ出ます。（週直も含む）
- ③ 用事のない人は校舎内に残りません。（他の教室や他学年のフロアにも入りません）

《下校》

- ① 最終下校時刻15分前のチャイムですみやかに活動を止め、下校の準備をします。
- ② 部活動後は各部の活動の服装で下校することもできます。
- ③ 交通ルールやマナーを守って下校し、危険な行為（並進やヘルメットを取るなど）や他の人に迷惑をかける行為（友達の家・公園・道路で集まるなど）は絶対に禁止です。

《その他》

- ① 熱中症対策のため、水筒を持参したり、登下校の際に帽子を被ったりすることができます。
- ② サイレントゾーン（南棟2階職員室前廊下）は静かに過ごします。

生徒心得②（身だしなみについて）

《制服》

- ① 上はAタイプ制服は学ランまたはワイシャツ、Bタイプ制服はブレザーまたはブラウス（Bタイプはベストを着ることもできます）で生活します。※上着のそではまくりあげません。
- ② 下はAタイプ制服はズボン、Bタイプ制服はスカートを着用します。

【Aタイプ制服】

カラーを着用し、学生服（標準）のボタンは全て閉めます。式典<入学式・始業式・終業式・修了式・卒業式>では学ランのホックも留めます。ワイシャツの第1ボタンは開けておくこともできます。ベルトを着用し、全体的にだらしない着方にならないようにします。

【Bタイプ制服】

ブレザーを着ていない場合は、ベストを着用しないこともできます。ブレザーやブラウスのボタンは、すべて閉めます。また、ひざが隠れる丈のスカートを着用します。

【その他】

衣替え期間などは設けていません。各自の判断で着用する制服は選びましょう。校内では名札を付けますが、通学時は名札は付けません。

《かばん》

- ① 両肩にかけるリュックサックか通学用かばんを使用します。名札やはちまきを付けたり、落書きをしたりすることは禁止です。
- ② キーホルダーを付ける場合は、安全のため、必要以上に大きくない「目印となる程度」とします。
- ③ 部活動用のかばんを持ってくることもできます。

《くつ》

- ① 授業に支障のない物を着用します。色の規定はありませんが、ハイカットシューズは禁止です。

《頭髪》

- ① 爽やかで清潔感があり、学校生活に支障のない長さにします。
- ② 脱色や染色をしたり手を加えたりするなど、加工することはしません。
- ③ 寝ぐせを直すなどのために整髪料を使用しても構いません。ただし、無香料の物とし、学校には持ち込みません。
また、髪を固めたり、立たせたりするようなことを目的とした使い方はしません。
- ④ 肩より下にかかる場合は、華美でない色の髪留めでまとめます。

《インナー》

- ① ワイシャツやブラウスの下には、体操服か白Tシャツ・ワンポイント可を着用します。
- ② 白色以外のTシャツは着用することができません。
- ③ 体操服や白Tシャツの下に着用するものについては、えり付きやそでから出てしまうものは着用できませんが、色については特に決まりはありません。

《靴下》

- ① 色は白・黒・紺・灰色とします。
- ② 式典については、ふくらはぎまでの長さのもの（ノーマルソックス）を着用します。<入学式・始業式・終業式・修了式・卒業式およびそれに準ずる全校集会など>

《防寒着》

【セーター・ベスト・カーディガン】

- ① 色は黒・紺・グレー・白に近いものとし、ハイネックは着ることができません。
- ② 上着の下に着用します。セーターやベスト、カーディガンだけを着て生活することはできません。
- ③ 上着のそでやすそから、なるべく出ないように着用します。

【タイツ・インナーなど】

- ① タイツの色は黒または紺で無地のものとし、肌がすべて隠れる長さのものを着用します。
- ② タイツ着用時に靴下は履かなくてもよいですが、指先まで覆われていないタイプを着用する場合は、靴下を履きます。
- ③ 体育の授業時にタイツを着用することはできませんが、集会や清掃など、体操服やジャージで活動するものについては、着用することができます。
- ④ 体操服・ハーフパンツで活動する際に、そでやすそから出ないように着用します。

【コート・ウィンドブレーカーなど】

- ① 色や形については特に決まりはありません。
- ② 通学時や活動する時に危険のないものにします。
- ③ 原則、朝読書の始まりから帰りの会終了後までは着用しませんが、特別に指示がある場合はこの限りではありません。
- ④ 部活動で揃えたジャージなどを着用することができます。

【マフラー・手袋・ネックウォーマー・耳当てなど】

- ① 色や形については特に決まりはありません。
- ② 朝読書の始まりから、帰りの会終了後までは着用しません。

《ひざかけ》

- ① 教室（特別教室を含む）内での、朝読書・短学活・授業時のみ使用します。
- ② 授業中に羽織ることはしません。
- ③ 休み時間や移動時に羽織ることや腰に巻くことはしません。
- ④ 個人ロッカーに保管します。
- ⑤ 色等の規定は特に設けません。
- ⑥ 貸し借りはせず、ほかの人の物には触りません。